



# Ability for Basic Feeding and Swallowing Scale for Children (ABFS-C)

	グレード	0	1	2	3
1	覚 醒	痛み刺激に 反応なし 	揺らすと 覚醒する 	声掛けで 覚醒する 	覚醒している 
2	頸部保持	頭が全く すわっていない 	両肩を45° 引き起こしても 首がついてくる 	両肩を90° 引き起こしても 首がついてくるが10秒 保持できない 	両肩を90° 引き起こしても 首が10秒 すわっている 
3	感覚過敏	全身の 感覚過敏 がある 	唇や口周囲に物が 触れるのを嫌がる 	口腔内に物が 触れるのを嫌がる 	感覚過敏がない 
4	舌口唇運動	唇を閉じること も舌を動かすこと もできない 	唇を閉じることが できるが舌を 動かすことが できない 	唇を閉じることが でき、舌は 口腔内でのみ 動かすことが できる 	唇を閉じること ができ、舌 を口腔外へ 出すこともで きる 
5	分泌物処理	常にヨダレが 口から溢れている 	常に喉が ゴロゴロしている 	口腔内刺激後に ゴロゴロが 出現する 	口腔内刺激後も ゴロゴロしない 

## 「小児摂食嚥下評価スケール」

〈ABFS-C;Ability for Basic Feeding and Swallowing Scale for Children〉

ABFS-C はどこでも誰にでも簡便に評価が行える小児摂食嚥下評価スケールです。

評価項目は「覚醒」「頸部保持」「感覚過敏」「舌口唇運動」「分泌物処理」の5項目で、それぞれを0、1、2、3の4段階でグレードを評価します。

各項目とも幼児がその時点で発揮できる最大限の能力によって評価点をつけます。